

ふくやま実験クエスト 課題内容

No./名称	No.3/障がい福祉事業所の空き状況の迅速な把握とマッチング支援
現状(背景)	<p>障がい福祉サービスを利用する際は、利用希望者や支援機関が、利用可能な空き状況や提供サービスの特色などを個別に事業所に確認等を行っていると考えられ、近年、事業所数が増加したことから、その確認に手間と時間がかかっている。</p> <p>また、緊急のサービス利用が必要になる場合においては、事業所の利用可能な空き状況を迅速に把握し、できるだけ早く受け入れ先を探す必要がある。</p>
目標(目指す姿)	<p>障がい福祉事業所の利用可能な空き状況や活動内容をタイムリーかつ効率的に把握できる仕組みを構築することで、障がいのある方が円滑にサービスを受けられる環境を整える。</p> <p>※上記の一部のみの寄与でも提案可能</p>
目標達成に向けたアクションにおいて主に懸念される項目等	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所の種類によって、空き状況の表示方法を工夫する必要がある。(居住系サービスは、部屋の空き状況であるが、通所系サービスは受入れ可能な曜日・時間の空き状況となるため) ●取得する空き情報に、一定の正確性、適時性及び網羅性が保たれる必要がある。